

大学の教育目的・目標および3つのポリシー

教育研究上の目的および教育目標

本大学は、法令の定めるところに従い、法学、経営学、栄養学、国際リベラルアーツ及びスポーツ科学の分野の教育研究を通じて、広い国際的視野を持ち実践的な知識と技能を備え、創造力と行動力を発揮して理想の未来を創る人材を育成することを目的とする。

この目的のため、たくましく生きる力を育成することを教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

山梨学院大学では、『たくましく生きる力』を育成すること」を達成するために、学生が以下の能力を修得することを大学の学位授与方針とする。

ディプロマ・ポリシー	
DP 1	「実践的な知識と技能」を備え「創造力と行動力」を発揮して社会に貢献する基盤が身についている。
DP 2	多様な背景を持つ人たちと、母語や母語以外の言語で、目的に応じた意思疎通ができる。
DP 3	自ら目標を設定し、達成するまでやり抜こうとする姿勢を持つ。
DP 4	自己を理解し、他者との良好な関係性を構築しながら、自らの思考と行動を決定できる。

教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

山梨学院大学では、学位授与方針に基づき、以下のとおり教育課程を編成・実施する。

カリキュラム・ポリシー	
教育内容	<ol style="list-style-type: none">1. 学部専攻科目においては、DP1 に掲げられた「実践的な知識と技能」および「創造力と行動力」を身につける。2. 学部専攻科目以外においては、各科目群の履修を通じて、全学 DP に掲げられた能力を身につける。
教育方法	<ol style="list-style-type: none">1. 講義系の科目においては、知識と技能を伝授するだけでなく、知識と技能の活用力を育成するためにアクティブラーニング手法を用いた授業を実施する。2. 演習系科目においては、創造力と行動力を育成するために、プロジェクト型学習等を実施する。

評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 講義系の科目においては、知識・技能の定着を測るだけでなく、知識・技能の活用力をパフォーマンスで評価する。 2. 演習系科目では、プロジェクトの実行課程における行動評価とプロジェクトの成果に対するパフォーマンス評価を行う。 3. 各授業の評価基準はシラバスと授業ルーブリックによって定める。 4. 卒業判定は、各学部の履修規程に定められた基準によって行う。
------	---

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

山梨学院大学では、学位授与方針に照らして、次のような意欲と能力を持つ学生を受け入れる。

アドミッション・ポリシー	
1. 知識・技能	各学科での学びにつながる基礎学力を備えている人
2. 思考力・判断力・表現力等の能力	問題を多角的にとらえて、適切に判断し表現することができる人
3. 主体性をもって、多様な人々と協働して学ぶ態度	目標・目的を定めて向上心を持って成長しようとする人